

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】 グローバルビジネス論		
担当者(Instructors)	Tran ThiTuyetNhung	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)

近年、多くの日本企業はグローバルビジネスを大きく拡大している。人口減少と少子高齢化により労働力不足と国内市場の縮小、日本市場が成熟期に入り、経済成長率が長期的に低迷しているため、日本企業にとってグローバルビジネスの展開が必須になっている。本講義では、急速に変化するグローバルビジネス環境をふまえて、グローバルビジネスの捉え方、起源と歴史、企業行動とマーケティング・経営戦略について検討していく。理論の解説と共にグローバルビジネスを加速している業界・企業事例分析（ケーススタディ）によりグローバルビジネスの知識を深める。

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義中で具体的なケースを用いた作業（ケースの予習、ディスカッションなど）を適宜行う予定

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	講義の構成、進め方、評価方法、教科書・参考書 など	<input type="checkbox"/>
第2回	グローバルビジネスとは何か	グローバル化とは何か グローバルビジネス（市場のグローバル化と生産のグローバル化） グローバルな機関の登場 グローバル化の原動力（貿易や投資に対する障壁の低下、技術の変化等）	<input type="checkbox"/>
第3回	グローバルビジネスの起源・歴史	グローバルビジネスは一体いつ始まったか。 イギリスやオランダをはじめヨーロッパの国々とアジア各国のグローバルビジネスの起源	<input type="checkbox"/>
第4回	グローバルビジネスと多国籍企業	多国籍企業とは 多国籍企業の事例	<input type="checkbox"/>
第5回	グローバルビジネスの現状 (1) 自動車産業	グローバルビジネスの現状を理解するために自動車産業の事例を分析する	<input type="checkbox"/>
第6回	グローバルビジネスの現状 (2) IT産業	グローバルビジネスの現状を理解するためにIT産業の事例を分析する	<input type="checkbox"/>
第7回	グローバルビジネスの現状 (3) エレクトロニクス産業	グローバルビジネスの現状を理解するためにエレクトロニクス産業の事例を分析する	<input type="checkbox"/>
第8回	グローバルビジネスの現状 (4) 流通	グローバルビジネスの現状を理解するために流通の事例を分析する	<input type="checkbox"/>
第9回	グローバルビジネスの現状 (5) 生活文化産業	グローバルビジネスの現状を理解するために生活文化産業の事例を分析する	<input type="checkbox"/>
第10回	グローバル・マーケティング	グローバル市場の形成と消費者行動 企業のグローバル市場参入様式	<input type="checkbox"/>
第11回	グローバル経営戦略	グローバル経営環境 グローバル多角化戦略、グローバル統合・ローカル適応（I-Rフレームワーク）	<input type="checkbox"/>
第12回	標準化と適応化	「標準化」・「適応化」とは 「標準化」・「適応化」によって得られる経済効果	<input type="checkbox"/>
第13回	M&A	M&Aの概念と目的 近年の世界ならびに日本の動向	<input type="checkbox"/>
第14回	グローバルビジネスで求められる人材	グローバルビジネスで求められる人材の能力、必要なスキル 人材育成	<input type="checkbox"/>

第15回	総括 グローバルビジネスの諸問題	講義のまとめ 復習	□
------	------------------	--------------	---

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

予習は配布資料を熟読しておくこと（2時間ほど）。復習は各自の講義ノートを整理し、疑問点をまとめ、次の講義までに質問内容をまとめておくこと（2時間ほど）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

質問は講義中に随時受け付ける。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019国際ビジネスDP1	①グローバルビジネスの基礎概念、理論を理解することができる。 ②グローバルビジネスを理解し、環境分析・マーケティング分析・戦略分析がどのような意味があるかを理解することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%		40%	60%	

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	毎回、授業で配布するパワーポイントをテキストとして使用する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	開講時に指示する。	
2		
3		
4		
5		